

見本

〔様式第1号〕

令和〇年〇月〇日

大阪市長 様

住 所 大阪市北区中之島〇-〇-〇

(法人その他の団体にあつては主たる事務所の所在地)

氏 名 一般社団法人 〇〇〇〇

理事長 〇〇〇〇

(法人その他の団体にあつてはその名称、代表者の氏名)

担当者及び 担当:〇〇

連絡先 06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

大阪市公衆衛生活動事業補助金交付申請書

標題の補助金について交付を受けたいので、大阪市公衆衛生活動事業補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり申請します。

記

1 交付を受けようとする補助金の額及びその算出の基礎

(1) 補助金の額 金 _____ 円

(2) 算出の基礎 別紙事業計画書のとおり

[様式第1-3号]の補助額(B×1/2)と上限額(C)を比較し、どちらか低い方の金額を記載してください。

2 補助事業等の名称、目的及び内容

(1) 名称 別紙事業計画書のとおり

(2) 目的 別紙事業計画書のとおり

(3) 内容 別紙事業計画書のとおり

3 補助事業等の開始日及び完了予定日

別紙事業計画書のとおり

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 事業収支予算書

見本

〔様式第1-2号〕

事業計画書

事業名称 (講演テーマ)	講演会 講演テーマ:「がんを考える」	三次予防の普及啓発を主とした事業であることを目的にしてください。
事業の 目的	講演を通じて、がんの重症化予防や手術後のリハビリの体験談等を区民に伝えることで、がんに関する知識と意識を向上させる。	
事業の 期間・予定	令和〇年〇月〇日(〇曜日)	
場 所	〇〇会館 大ホール	
具体的な 事業内容	周知方法 1. 当会ホームページで周知 2. 周知ポスター(100枚)・周知ビラ(10,000枚)を作成し、区内各医療機関(90医療機関)と関係団体(10団体)へ配布する。 事業実施方法 講演者:〇〇〇〇先生(循環器内科) 講演時間:13時~15時(2時間) 従事者:12時~16時(4時間)2人従事 対象者:〇〇区民(100人予定) 事業効果の検証方法:講演前・後で健康意識が向上したか、今後どのような講演が必要か等のアンケートを実施し、効果検証を行い、今後の講演テーマの検討材料にしていく。	事業効果を測定する方法を必ず記載してください。

(注)

・当該区域の地域医療に従事する医師が三次予防の視点で実施する医療相談・講演会が補助対象(要綱第4条)

・本市の実施する公衆衛生活動を含むイベント事業は補助対象外(要綱第4条3項1号)。ただし同条の、ただし書き以降に該当する事業について交付申請を行う場合は、その事業について詳細を添付すること

見本

〔様式第1-2号〕

事業計画書

三次予防の普及啓発を主とした事業であることを目的にしてください。

事業名称(講演テーマ)	医療相談
事業の目的	地域の実情に合った医療情報を提供したり、疾病に関する悩み等にお答えすることで、疾病の重症化予防やリハビリによる機能回復の重要性を伝えることで、相談者の健康不安解消や三次予防の普及啓発の向上を図ることを目的とする。
事業の期間・予定	令和〇年〇月〇日(〇曜日)
場 所	〇〇会館 大ホール
具体的な事業内容	周知方法 1. 当会ホームページで周知 2. 周知ポスター(100枚)・周知ビラ(10,000枚)を作成し、区内各医療機関(90医療機関)と関係団体(10団体)へ配布する。 事業実施方法 担当医師:1. 〇〇〇〇先生(循環器内科) 2. 〇〇〇〇先生(内科) 3. 〇〇〇〇先生(皮膚科) 4. 〇〇〇〇先生(外科) 相談時間:13時~15時(2時間) 従事者:12時~16時(4時間)2人従事 対象者:〇〇区民(20人予定) 事業効果の検証方法:相談前・後で健康不安が解消したか、日頃どのようなことで不安に感じているか等のアンケートを実施し、効果検証を行い、今後の医療相談実施方法について検討材料にしていく。

事業効果を測定する方法を必ず記載してください。

(注)

・当該区域の地域医療に従事する医師が三次予防の視点で実施する医療相談・講演会が補助対象(要綱第4条)

・本市の実施する公衆衛生活動を含むイベント事業は補助対象外(要綱第4条3項1号)。ただし同条の、ただし書き以降に該当する事業について交付申請を行う場合は、その事業について詳細を添付すること

見本

[様式第1-3号]

事業収支予算書

氏名 ○○○○

○○負担金、○○会費、○○運営費

【歳入】

項目	金額
○○○○負担金	299,785
公衆衛生活動事業補助金	186,645
※補助額(B×1/2)と上限額(C)を比較し、どちらか低い方の金額を採用すること	
合計	486,430

【歳出】

項目	所要経費(A)
医療相談	486,430

交付要綱別表1を参照し、記載してください

(所要経費内訳)

所要経費(A)				補助対象経費(B)			
医師出務費	@50,000	×	4人 = 200,000	医師出務費	@25,600	×	4人 = 102,400
従事者賃金	@10,000	×	1人 = 10,000	従事者賃金	@1,114	×	1人
						×	4時間 = 4,456
手話通訳	@10,000	×	1人 = 10,000	手話通訳	@10,000	×	1人 = 4
会場	@30,000	×	1式 = 30,000	会場	@30,000	×	1式 = 30,000
マイク	@1,050	×	3本 = 3,150	マイク	@1,050	×	3本 = 3,150
机	@420	×	4台 = 1,680	机	@420	×	4台 = 1,680
椅子	@210	×	20脚 = 4,200	椅子	@210	×	20脚 = 4,200
プロジェクターセット	@6,300	×	1台 = 6,300	プロジェクターセット	@6,300	×	1台 = 6,300
案内板	@31,500	×	1枚 = 31,500	案内板	@31,500	×	1枚 = 31,500
看板	@1,050	×	1枚 = 1,050	看板	@1,050	×	1枚 = 1,050
事務用品	@1,000	×	1式 = 1,000	事務用品	@1,000	×	1式 = 1,000
看板	@1,050	×	1枚 = 1,050	看板	@1,050	×	1枚 = 1,050
パネル	@1,050	×	10枚 = 10,500	パネル	@1,050	×	10枚 = 10,500
周知ビラ	@5.5	×	10,000枚 = 55,000	周知ビラ	@5.5	×	10,000枚 = 55,000
周知ポスター	@1,050	×	100枚 = 105,000	周知ポスター	@1,050	×	100枚 = 105,000
周知ビラ・ポスター郵送料	@160	×	100箇所 = 16,000	周知ビラ・ポスター郵送料	@160	×	100箇所 = 16,000
合計			486,430	合計			373,290
				補助額(B×1/2)			186,645
				上限額(C)			341,000

見本

[様式第1-3号]

事業収支予算書

氏名 ○○○○

○○負担金、○○会費、○○運営費

【歳入】

項目	金額
○○○○負担金	162,372
公衆衛生活動事業補助金	134,628
※補助額(B×1/2)と上限額(C)を比較し、どちらか低い方の金額を採用すること	
合計	297,000

【歳出】

項目	所要経費(A)
講演会	297,000

交付要綱別表1
を参照し、記載し
てください

(所要経費内訳)

所要経費(A)				補助対象経費(B)			
講師謝礼(2H)	@50,000	×	1人 = 50,000	講師謝礼(2H)	@22,800	×	1人 = 22,800
従事者賃金	@5,000	×	1人 = 5,000	従事者賃金	@1,114	×	1人
						×	4時間 = 4,456
手話通訳	@10,000	×	1人 = 10,000	手話通訳	@10,000	×	1人 = 10,000
会場 (机・椅子・案内 板・看板含む)	@34,000	×	1式 = 34,000	会場 (机・椅子・案内 板・看板含む)	@34,000	×	1式 = 34,000
マイク	@1,050	×	3本 = 3,150	マイク	@1,050	×	3本 = 3,150
プロジェクター セット	@6,300	×	1台 = 6,300	プロジェクター セット	@6,300	×	1台 = 6,300
事務用品	@1,000	×	1式 = 1,000	事務用品	@1,000	×	1式 = 1,000
看板	@1,050	×	1枚 = 1,050	看板	@1,050	×	1枚 = 1,050
パネル	@1,050	×	10枚 = 10,500	パネル	@1,050	×	10枚 = 10,500
周知ビラ	@5.5	×	10,000枚 = 55,000	周知ビラ	@5.5	×	10,000枚 = 55,000
周知ポスター	@1,050	×	100枚 = 105,000	周知ポスター	@1,050	×	100枚 = 105,000
周知ビラ・ポス ター郵送料	@160	×	100箇所 = 16,000	周知ビラ・ポス ター郵送料	@160	×	100箇所 = 16,000
合計			297,000	合計			269,256
				補助額(B×1/2)			134,628
				上限額(C)			341,000